

布野中だより

平成 28 年 10 月 11 日(火)
第 8 号
三次市立布野中学校

中学生による“出前授業”を実施

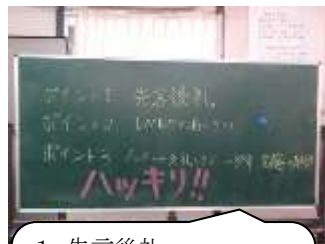
去る 10 月 5 日(水)、3 年生が布野小学校 6 年生教室を訪問し、“出前授業”を行いました。いつもとは逆に教壇から教える立場で、“授業”を体験しました。3 班に分かれ、理科、英語、社会の授業を行いました。6 年生の児童も熱心に取り組んでくれました。小学生と中学生の交流として、そして地域・体験学習の一環としても、とても有意義な学習活動になったように思います。



出前授業の様子
(布野小にて)

生徒会による「挨拶向上」の取組

同 10 月 5 日(水)の生徒朝会で、生徒会役員が挨拶の向上を目ざして、みんなに呼びかけました。「先言後礼」など、



- 1 先言後礼
- 2 レベル5の挨拶
- 3 ノック→失礼します→学年・名前→用件

3つのポイントを、模範を示しながら分かりやすく説明しました。

1 学期のアンケートによると、校外での挨拶はよくできていますが、「レベル 5」の挨拶となると、

5 割程度の達成率になります。よりよい挨拶(生活)を目ざして、一人一人しっかりと努力して欲しいと思います。



生徒会役員の模範演技

避難訓練を実施

去る 9 月 30 日(金)、地震を想定した避難訓練を実施しました。始めに、講師として招聘した三次消防署の方から、地震発生時の対応や避難の時に注意することなどをお話いただきました。その後、教室で地震が発生した想定で、避難する訓練を行いました。そして、発生時には机の下に入り落下物から身を守ることや、避難時には上方への注意等、色々な状況へ注意すること等をご指導くださいました。



机の下に入り身を守っています。

今回の避難訓練を通して、生徒たちの安全への意識が益々高まればと思っています。

○【全国学力・学習状況調査】(対象；3年生，4月に実施)

<教科全体の平均正答率(%)>

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	数学 A (知識)	数学 B (活用)
布野中平均	78.8	72.6	66.9	49.7
広島県平均	76.6	67.9	62.1	44.8
全国平均	75.6	66.5	62.2	44.1

<本校の平均正答率と広島県の平均正答率との比較>

	相対的に本校の平均正答率が高い主な項目	相対的に本校の平均正答率が低い主な項目
国語 A	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み返し、文の使い方を工夫して書く。 ・奥付の特徴や役割を理解する。 ・文脈に即して漢字を正しく読む。 ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈の中における語句の意味を理解する。 ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。 ・奥付を使って本についての情報を得る。
国語 B	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて文章を要約する。 ・目的に応じて必要な情報を読み取る。 ・文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中心的部分と付加的部分とを読み分け、要旨を捉える。
数学 A	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの等号で結ばれている方程式の関係を読み取り、二つの二元一次方程式で表すことができる。 ・ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことができる。 ・証明の必要性と意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然数の意味を理解している。 ・数量の関係を文字式に表すことができる。 ・一元一次方程式の解の意味を理解している。 ・対称移動した図形をかくことができる。
数学 B	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる。 ・与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数学的に表現することができる。 ・計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、的確に処理することができる。 ・与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる。 ・筋道を立てて考え、証明することができる。

この調査から、本校の基礎的な学力はおおむね定着しつつあると考えていますが、資料や情報を活用する問題について課題がある結果となっています。

<生活と学習について>

「自分には良いところがあると思いますか」(肯定的回答；本校 92.3%，県 76.4%)、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」(肯定的回答；本校 84.7%，県 49.3%)、「家で学校の授業の復習をしていますか」(肯定的回答；本校 100%，県 55.6%)、「家で学校の授業の予習をしていますか」(肯定的回答；本校 53.9%，県 34.8%)などは県平均を上回っていました。

また、平日に 2 時間以上家庭学習を行っている生徒は 61.6%いる反面、平日に 2 時間以上テレビを見ている生徒が 61.6%，1 時間以上テレビゲームをしている生徒が 53.9%，携帯電話で 1 時間以上メールやインターネットを行っている生徒が 46.2%おり、家庭での過ごし方に課題が見られました。

今後も、これらの調査結果をいかなしながら授業改善をおこない、学力向上と自己効力感の醸成やキャリア教育の一層の充実を図ってまいります。